

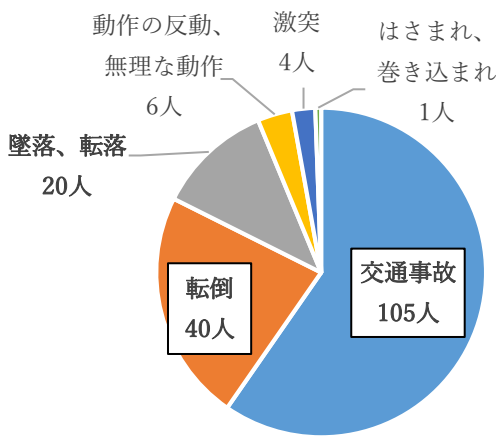
交通事故、転倒、転落による労働災害を防ぎましょう

岡山県内の新聞販売業の休業4日以上の死傷災害は、平成28年から令和2年の5年間で**176人**であり、平成31年には**交通事故**により**1人**の死亡災害が発生しています。また、**173件**が新聞配達中の**事業場外での災害**です。



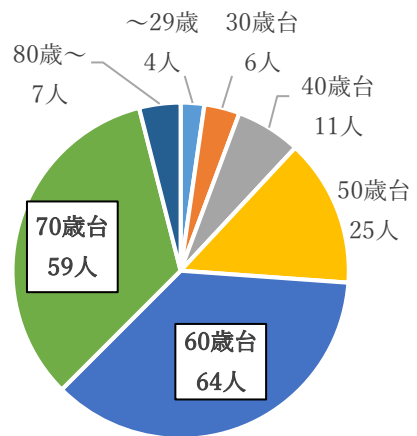
県内新聞販売業の災害の現状（過去5年分）

死傷災害の事故の型別件数



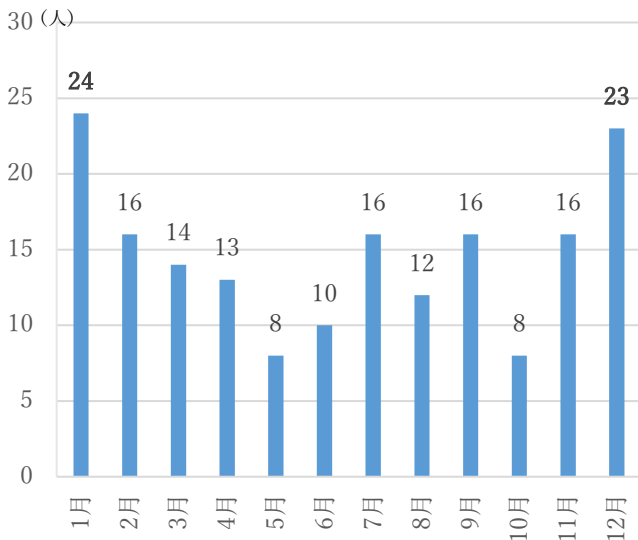
交通事故と転倒によるもので死傷者数の**82.4%**を占めています。

死傷災害の年齢別件数



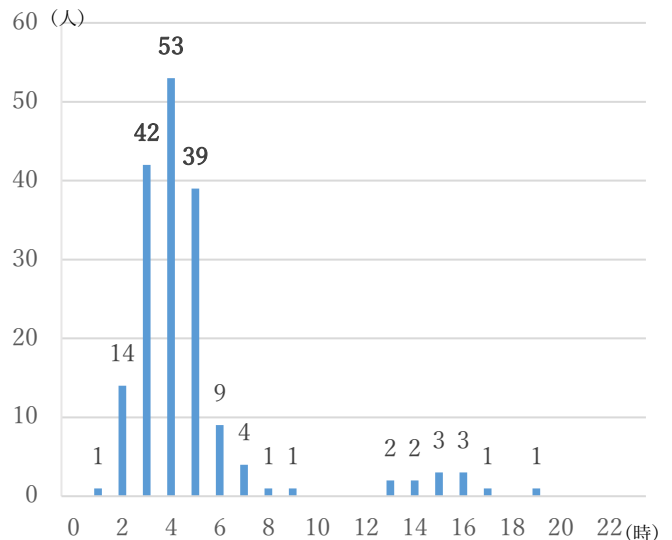
60歳以上の災害が多く、全体の**73.9%**を占めています。

死傷災害の月別件数



冬季の災害が多く、転倒も冬季に集中しています。これは路面凍結などによる影響と考えられます。

死傷災害の時間別件数



朝刊の配達時間に多く発生しています。

配達中の交通事故、転倒、転落を防ぎましょう

「交通労働災害防止のためのガイドライン」に沿った対策

労働災害防止は**事業者の責務**です。労働災害防止対策を積極的に推進しましょう。

事業者は労働者に対して、雇い入れ時教育、日常の**教育を徹底し、交通法規の遵守の徹底**を図るとともに、**交通労働災害防止のための知識を付与**しましょう。

異常気象時には、走行の中止や**安全な場所で一時待機**する等労働者に**適切な指示**を行いましょ
う。

服装と保護具の選択

他の車両との接触や激突されることを防ぐため、**反射チョッキ等**の**視認性の良い服**を着用しましょう。
転倒、転落防止のため、**履物は滑りにくいもの**を選びましょう。

余裕を持った安全運行

慌てることにより、安全不確認での走行や階段等での転倒につながるため、事業者は時間に**余裕のある配達計画**を作成し、労働者が慌てることのないよう業務を行わせましょう。

「かもしれない運転」を行う等の**安全運行**を心掛けるよう**指導**しましょう。

交通安全情報マップの作成

配達中の**「ちょっとした不注意」**、**「判断ミス」**、**「だろー運転」**などは、交通事故や転倒などの災害につながります。災害にならなくとも、**「ヒヤリ」**とか**「ハット」**を経験したことは誰しもあると思います。

そこで、このような災害を起こさないため、全員で新聞配達時における**危険場所の洗い出し**を行い、その対策や注意すべき事項などの**情報を確認共有**することが効果的になります。

「交通安全情報マップ」を作成後は、掲示・配付する等により**配達員全員に周知**し、安全活動に取り組みましょう。

交通安全情報マップ作成手順

- ① 新聞配達区域マップを配達員全員に配付
- ② 配達経路を記入
- ③ ヒヤリ箇所を記入
- ④ 対策と確認事項を記入

※配達的时间帯、季節によって状況が変化するため、**定期的な見直しも必要**です

